

| | |
|----------------------|---|
| 重点取組名 | 中山間地における営農組織の育成・経営支援 |
| 普及活動担当 | 渡辺一成 (東濃地域農業改良普及センター・中津川地域担当班、tel 0573-26-1111、 c24907@pref.gifu.lg.jp) |
| 主要な活動地域・対象農業者 | 中津川市・恵那市地域で核となる営農組織及び関係農業者を対象とする。 (重点取組対象として、安弘見機械化営農組合等４組織) |
| 取組結果・成果 <取組みのねらい> | <p><取組み></p> <p>○営農組合衆がやがや会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・２月９日に「営農組合衆がやがや会議」を開催した。１４営農組合２３人の参加があり、品目横断的経営安定対策に対応した営農組合の対応や法人化等についての情報交換が行われ意欲の向上が図られた。 <p>○各営農組合に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察研修会の実施、運営委員会、地区座談会等における法人化支援を行った。 ・役員会にて組合の将来の担い手について話し合いを行い、今後の農作業受委託のニーズ把握を行った。農作業意向アンケートにあたってはアンケートの作成からとりまとめまで支援を行い「営農組合を核とした担い手づくり」というビジョンを提案した。 ・新しい集落営農組織を立ち上げに関する状況把握と要請事項に対する支援を行った。 ・ＪＡ、市、農業委員会、県農林商工事務所と連携してチームを編成し、管内全地域を対象として、集落営農の推進及び平成１９年度から実施される品目横断的経営安定対策への対応について指導を行った。 <p>○ぎふクリーン農業制度等を活用した売れる米づくり支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市岩村町の飯羽間地区が昨年度から超特選米の栽培をしており、ぎふクリーン農業生産登録申請の支援を行った。 ・恵那市坂折棚田保存会にて、棚田米のぎふクリーン農業生産登録について提案を行った。 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市岩村で富田営農組合、中津川市苗木で三郷営農組合が設立された。また農事組合法人ふるさと松本が新規発足され、安弘見機械化営農組合が新年度当初に法人化することが固まった。 ・集落営農の推進のために関係機関が連携する体制が構築され、集落等での話し合いが活性化した。 ・飯羽間機械化営農組合が５８ha、岩村町富田営農組合が４６ha、切山営農組合が１．６ha、恵那市坂折棚田保存会が０．６haのぎふクリーン農業生産登録申請を行った。 |
| 連携機関、協議会等 | 地域水田農業推進協議会等（中津川市・恵北・山口・恵那市） 担い手育成支援チーム（ＪＡ、市、市農業委員会、県農林商工事務所、農業改良普及センター） |
| 取組の特徴や取組に際しての工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・「営農組合衆がやがや会議」は、営農組合有志が発起人となり普及センターの呼びかけで平成１５年から開催している。今年は国の農業政策が大きく変わるなかで「国の農政の転換とそれに対応する集落営農の推進」というテーマで開催したいとの意向を受け、関係機関の協力を得て開催し、各営農組合の対応状況と問題点等を情報交換した。 ・集落営農を推進するとともに、品目横断的経営安定対策に対応するため、ＪＡ、市、市農業委員会、県農林商工事務所との連携により担い手育成支援チームを編成した。各関係機関では地域別の担当者を明確化し、地域別の支援チーム員で活動を行った。 |
| 【参考】 | |